

# 大学国際化へ交流促進

## 光星学院 中国・徐州の短大と協定



### 留学生受け入れ、教員派遣

八戸学院大学・同大短期大学部を運営する八戸市の学校法人光星学院（法官新一理事長）は、中国・徐州市の短期大学「九州職業技術学院」（曹克成理事長）と、教育・交流に関する協定を締結した。留学生の受け入れや、教職員の派遣などを行う予定。同法人が中国の大学と協定を結ぶのは初めて。

（月館慎司）

同学校は1993年に設立し、学生は約6千人。経済学、医療・健康学、建築学などを専門としており、八戸学院大と共通している分野もある。昨年暮れから協定締結に向けて調整を進めていた。

協定内容は①教員・研究者間の相互交流②教育に関する交流・協力③学生の受け入れなど5項目。

6月24日、同学校で行われた締結式で、法官理事長がお土産を交換して握手する。法官理事長と曹理事長（光星学院提供）

と朱涛副院長が協定書に調印。法官理事長と曹理事長がお土産を交換して握手した。

法官理事長は「教育の連携を通して、両校間また両国間の友好を推進していきたい」と語った。

協定締結に奔走した同法人の楊麗栄・中国センター長は「中国の大学との交流を通して、八戸学院大の国際化をさらに強化し、相手の学校とともに発展していきたい」と抱負を述べた。

法官理事長一行は、西安外国語大学や西安体育学院なども訪問し、親睦を深めた。

同法人は中国の教育機関との交流を進めている。今年3月に西安市の語学学校「現代教育」と連携協定を締結。4月からは中国人留学生3人を受け入れている。